



2010 年 12 月 24 日

BMW がアメリカズ・カップより撤退

➤ **共に成功を築いた長年のパートナー、オラクル・レーシングに謝意を示す**

ミュンヘン発：

本年末をもって、BMW は長年パートナーシップを築いてきたオラクル・レーシングとのパートナーシップを打ち切り、アメリカズ・カップから撤退すると表明した。これは両者が合意の上で至った結論である。双方はこれまでに意欲的な目標を掲げ、アメリカズ・カップ優勝という最高位を手にすることができた。

BMW とオラクル・レーシングは 2002 年よりタッグを組んできた。自動車とヨット・セーリングという垣根を超越し、最新技術とノウハウを共有することが可能となった。特に、構造工学と高弾性複合構造の分野では卓越した技術力を発揮した。その結果、2010 年 2 月にスペインのバレンシア沖でおこなわれた第 33 回アメリカズ・カップにおいて、三胴船ヨット「USA 17」は防衛艇を 2-0 で下し、優勝。世界最速のヨットに輝いた。

BMW スポーツ・マーケティングのゼネラル・マネジャーであるラルフ・フスマンは次のようにコメントしている。

「デザイン、及び工学の最先端をゆく騎手として、BMW のエンジニア・チームは高度な軽量設計を実現させました。第 33 回アメリカズ・カップにおいては優勝をおさめ、究極の目的を達成できたと思っています。アメリカズ・カップからは撤退しますが、今後もドイツ国内のヨットレースへの参加は続行する方針です。」

また、BMW オラクル・レーシング CEO であるラッセル・クーツは次のように述べている。

「アメリカズ・カップは技術とスポーツという、それぞれの分野における挑戦の衝路となりました。その成功はレース・コースによって試されてきました。レーシング・チームと BMW のコラボレーションが勝利につながった実績を私たちは誇りに感じています。」